学校番号	２０６

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「新　探求古典Ｂ」古文編・漢文編　（桐原書店）						
副教材等	「新明説総合古典文法」（尚文出版）、「精選漢文」（尚文出版）、「古文単語３３０」（いいずな書店）、「漢文クリアノート」（尚文出版）、「読み解く古典３」（浜島書店）、「センター試験国語過去問題総合版（未定）」（尚文出版）、「新版　共通テスト対策古典 24」（尚文出版）、「国公立二次過去問選古典編」（数研出版）（ＧＣクラスのみ）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業を大切に！　受験勉強の基礎は授業です。具体的には・・・

① 基本を大切に。　「単語力」（漢文では、漢字の知識）と「文法力」（漢文では句形）を春休み中に勉強できただろうか。助動詞・助詞・敬語以前の用言の識別が不確かだと助動詞・助詞・敬語の学習も困難である。自分がどの段階でつまずいているのかを一刻も早く自覚して、そこからやり直すこと。 授業の中で大半はおぼえられる！

② 古典の大意をつかむ努力を。　いつ、どこで、誰が、何を、なぜ、どうした、ということ。文章全体の流れや登場人物の行動や心情を読みながら、慎重に主語・目的語等を補っていく。一つの主語を取り違えたために、文意を決定的に読み違えることも多い。

③ 作者が伝えたがっていることは、何なのだろうと考える姿勢を持つ。　作者は伝えたいことがあるから文章を書くというのは、古典（古文漢文）でも同じである。相手を理解しようという気持ちがなければ、脳は働かないのだ。

④ 共通テスト対策　「センター試験過去問題」や後期から授業で使用する「共通テスト対策問題集」等を解きながら、共通テスト(センター試験)の出題形式に慣れ、出題傾向を知るようにしよう。自分がなぜまちがえたのか、説明ではわからないことは、その日のうちに担当者に質問しよう。

⑤ 私大・国公立二次対策　二次試験に古典がある場合、記述の形式に慣れ、書ききる力をつけよう。記述問題集に取り組むとともに、教科書を丹念に読解していく授業においても、問題意識をもつようにしよう。また、大学によって出題傾向が異なる。赤本で早めに傾向をつかみ、それに合った問題集を購入して各自で対策を立てること。

２　学習の到達目標

１「古典」で学習した作品の、基礎的、基本的な事項の理解のもとに、高いレベルの文章で興味関心を高め、単なる言語知識だけでなく、日本の伝統文化を支え続けるものとして歴史的深さを認識する姿勢を大切にして、演習する力をつける。
２『源氏物語』等の原文を自力で読む力をつける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b：読む能力	c：知識・理解

観点の趣旨	国語を伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりを理解し、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、プリント、ワークシート等）	記述の確認及び分析（ワークシート）定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認（ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間考査	日記	教材: 「蜻蛉日記」嘆きつつ 「建礼門院右京大夫集」今や夢昔や夢と	○	◎	○	a 古文を読んで、人間、社会、自然などに対する作者の思想や感情を読み取る。 b 日記の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 c 敬語や助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。	a：行動の観察 b：記述の確認及び小テスト・定期考査 c：小テスト及び定期考査
	史伝	教材: 「史記」子路 「資治通鑑」蘇武、南に郷かひて	○	◎	○	a 訓読をして、文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 b 筆者が本文によって表そうと意図した内容について、正確に把握する。 c 否定・反語・使役・詠嘆などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。	a：行動の観察 b：記述の確認及び小テスト・定期考査 c：小テスト及び定期考査

前期末考査	物語	教材: 「源氏物語」葵上と物の怪・匂宮と浮舟	○	◎	○	a 古文を読んで、人間、社会、自然などに対する作者の思想や感情を読み取る。 b 物語・日記の構成や展開を把握し、登場人物・作者の行動や心情を読み味わう。 c 敬語や助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。	a:行動の観察 b:記述の確認及び小テスト定期考査 c:小テスト及び定期考査
	漢文の文章・思想	教材: 「売柑者言」 「孔明臥竜」 「荘子」	○	◎	○	a 漢文のさまざまな描写に接し、そこにうたわれているものを的確に捉える。世相を鋭く批判する文章を読み、その批判性を的確に捉える。 b 筆者が本文によって表そうと意図した内容について、正確に把握する。 c 詠嘆・倒置・累加・限定・疑問などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。	a:行動の観察 b:記述の確認及び小テスト定期考査 c:小テスト及び定期考査
後期中間考査	評論	教材: 「俊頼髄脳」「無名草子」	○	◎	○	a 評論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 b 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 c 和歌の効用について、知識を解釈にいかす。	a:行動の観察 b:記述の確認及び小テスト定期考査 c:小テスト及び定期考査
	センター対策	教材: 「韓非子」 問題集を解き、共通テストに対応する力を身につける。	○	◎	○	a 法家思想について、その特徴を知る。 b 話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 c 否定・比較・受身などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。	a:行動の観察 b:記述の確認及び小テスト定期考査 c:小テスト及び定期考査
後期末期考査	演習	演習形式によって、高校の古典知識を確立する。	○	◎	○	a 評論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 b 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 c 古文単語・古典文法、漢文句法・語彙、時代背景等を総チェックする。	a:行動の観察 b:記述の確認及び小テスト定期考査 c:小テスト及び定期考査